

奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民投句
令和三年一月度 入選句（投稿総数千九百十二句・小中学投句数千三百五十八句）

特選

年賀状おせわになつた先生へ 大垣市

安達 未媛(小四)

作者は、年賀状をもらう側ではなく、自分が年賀状を書く立場に立つて、俳句を作ったのですね。さらに、友達に書くだけでなく、自分がお世話になつた方へ書こうという作者の思いが立派です。先生と言つても、学校の先生、習い事の先生などいろいろいらつしやるでしょう。年賀状が届いた先生の笑顔も浮かんでくる心あたたまる俳句です。

福笑い美人になつたおかめさん 大垣市 吉田 珠里(小六)

お正月の行事「福笑い」。ふくよかな女性の「おかめさん」を見ているだけで、幸せが舞い込んできそうですね。作者は、目を閉じて、丁寧に目や口を置いていったのでしょね。さて、どんな顔になっているのだろう……。と思つたら、なんと美しい女性に変身。美人になつたおかめさんを見たときの、作者の驚きの表情も浮かんでくる俳句です。

窓ごしに積もらぬ雪をながめてる 加茂郡川辺町 松下 慶 大中三

静かに雪がふつているのを、静かに見つめる作者。白い雪が空から落ちてくるのを見ているだけで、心が洗われる気がします。このままふり続けば、茶色い地面が次第に、白く染まっていくのでしょうか。そして、街全体が白く染まってゆくのでしょうか。ところが、雪は地面に落ちてはかなく消えてゆきます。「積もらぬ雪」を、ただじつと見つめる作者の繊細な心を感じさせる俳句です。

秀逸

きのうよりちよつとやせたねゆきだるま 大垣市 よしくに りょう(小二)

もつとふれゆきがっせんがしたいから 大垣市 つちや なおき(小二)

おもちつきいきをそろえてぺったんこ 大垣市 杉野 実咲(小二)

はつげいこもくひようかいていたをわる 大垣市 杉山 遼(小二)

サンタきたクツキーたべてかえつたよ 大垣市 山口 七愛(小二)

雪だるまかおつくつたらわらつたよ 大垣市 住田 紗菜(小二)

おさいせんチャリンと鳴って初詣 大垣市 伊藤 百花(小四)

きらきらと空が光って初あかね 大垣市 児玉 尚稀(小四)

初日の出金生山を赤くそめ 大垣市 伊藤 慶(小四)

えだ一本小梅の花が生れてく 大垣市 岡田 あまね(小二)

入選

弟のねむるベッドにプレゼント
 ゆきだるまおひさまみたらとろりんこ
 あっちつちつきたておもちもつちもち
 としこしをまっていたけどゆめのなか
 なおったとおもったらまたしもやけだ
 お正月ビデオ通話でごあいさつ
 雪の日ははやく目がさめ外に出る
 ふゆのあさしんぶんやさんのあしあとだ
 かがみもち数日たつとかっちかち
 ていねいに私も書くよ初便り

大垣市 加茂郡川辺町 後藤 飛侶(中二)
 大垣市 高橋 怜(小二)
 大垣市 加納 詩歩子(小二)
 大垣市 安田 野々花(小二)
 大垣市 杉山 遼(小二)
 大垣市 田口 奏瑠(小二)
 大垣市 松田 琉花(小三)
 大垣市 渡部 結良(小三)
 大垣市 河添 朔也(小四)
 大垣市 河合 杏莉(小四)

入選

黒いはこおせち料理の宝箱
 神様がきてくれるかな鏡もち
 新年のカウントダウン息そろえ
 じよ夜のかね聞くまでずっと起きている
 ゆきだるま少しのあいだおともだち
 じよやのかねゴーンとならす手にひびく
 十二月赤い服着てパーティーだ
 雪だるまいっしょにつくって仲なおり
 雪合戦顔にあたって赤くなる
 きみのこと見守ってるよ雪だるま

大垣市 小林 泉き(小四)
 大垣市 山田 大と(小四)
 大垣市 中村 瑚乃羽(小四)
 大垣市 三鬼 叶夢(小四)
 大垣市 杉山 仁菜(小四)
 大垣市 吉田 悠菜(小四)
 大垣市 白澤 奈央(小五)
 大垣市 船戸 麻帆(小五)
 大垣市 金森 華穂(小五)
 大垣市 久江 七み(小五)

選者吟

大盛りのさらに大盛り初市場

恵理